

<HPへの史跡クラブ平成28年度活動報告の追加内容>

○平成28年11月1日 世界遺産・富岡製糸場廻り 参加者 4名

富岡駅到着と同時に小雨模様の中の出発が嘘のように秋晴れとなった中、途中で上州名物「おっきり込みうどん」などの昼食後、当時日本の近代化を支えた製糸産業の柱となった富岡製糸場に到着。ガイドの案内のもと、当時フランス人技術者の指導を受けながら日本の職人が建てたレンガ造りの巨大な繭倉庫、日本人工女たちが繭から糸をとる作業をしていた製糸場、指導者として雇われたフランス人技師の住居などを見学した。

この他、印象に残ったのは工女たちの一日の労働時間は7時間45分、月給制、日曜休日制の導入、また医療や教育に至るまで近代的な福利厚生が図られていたことである。

行程の概要は、大宮駅→高崎駅→富岡駅→富岡製糸場見学→富岡駅→高崎駅→大宮駅である。

写真は次の3枚です

富岡製糸場全景



西置繭所と製糸場内

